

宿屋の若旦那が復興支援に奮闘

全旅連青年部 福島県南相馬市でイベント

被災地の子どもたちにも全国の「うまいもん」届ける

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会(全旅連)青年部(横山公太郎)は13日、東日本大震災の被災地復興支援事業として、福島県南相馬市の鹿島生涯学習センターで「宿屋の若旦那大集合!全国うまいもん博覧会」と題するイベントを開いた。震災、津波と原発事故で大きなストレスを抱える地域の子どもたちとその父兄を対象に、全国の当地グルメを振る舞うとともに、伝統芸能などの催し物を上演。全国の青年部員約150人がイベント運営や来場者の応対に汗を流した。

会場には北海道から九州・沖縄まで、全国10ブロックの屋台を設置。レッド焼きそば(北関東信越ブロック)、飛騨牛(東海ブロック)、近江ナカレ(近畿ブロック)など、各地の当地グルメを来場者に振る舞った。ステージでは沖縄県青年部員による三線の演奏や、みちのくよさこい、ジャグリングなどのパフォーマンスを披露。プレゼントが当たるじゃんけん大会も行い、子どもたちを楽しませた。

地元在住の山崎真一郎さんは「被災地に目を向けていただき、本当にありがたい。元気つけられました」と子どもたちとともに笑顔で話した。青年部の横山部長は「震災以降、僕たちができることは何かと常に考えていた。子どもたちの笑顔を見て、僕たちも逆に元気をもらった。やって本当によかった」とイベントの成功に手ごたえを感じていた。

【森田 寛】



イベントのエンディングで雄叫びをあげる横山部長(中央)ら



四国ブースで「ぶっかけうどん」を振る舞う横山部長(左)



南相馬市真野小学校の児童。校舎は津波で使えなくなり、会場近くの仮校舎に通学している。同級生の約半数は県外などに避難しているという



北関東信越ブロックの「レッド焼きそば」に長い列が



盛り上がったじゃんけん大会



子どもに人気の京都府旅館組合のマスコット「とま郎」



イベントを担当した青年部事業部会担当副部長の田村佳之さん(左)と夢未来創造委員会委員長の宮澤知晴さん



沖縄県青年部員が郷土の楽器「三線」を披露。聴衆を巻き込んだ手踊りで盛り上がった



自民党の大島理森副総裁が陣中見舞に。被災地の子どもに「がんばれよ」と優しく声をかけていた